

重点	目標・取組	評価指標	自己	考察・改善策	学校関係者評価委員から
「一進一退」で、さわやかに	<ul style="list-style-type: none"> 「おはよう、こんにちは、失礼します、さようなら等」からコミュニケーション力の向上を目指す。 授業での元気のよい挨拶 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶がしっかりできているか。 地域の人に挨拶をしているか。 	A	<p>○【考察】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒94%(R2:91%・R1:89%)、保護者89%(R2:82%・R1:82%)、教職員89%(R2:86%・R1:89%)、協議委員92%(R2:100%R1:100%)が、本校の生徒は挨拶ができていると評価している。今年度は、コロナ禍であったが、生徒会や保護者による「あいさつ運動」を行ってきた。多くの生徒が、校内でさわやかな挨拶やコミュニケーションができていると実感している反面、地域の方への挨拶がなかなかできていないという御意見もいただいた。 【改善】 <p>こちらから挨拶をするとしっかりと返す生徒が多いが、自ら挨拶ができるかというできない生徒が多い。あいさつの重要性がどんなもので必要性があるのかを生徒会や健康生活部等を通じて指導していく。地域の方への挨拶についても積極的に声が出せるように啓発していくことが重要であると感じる。</p>	<p>◀【御意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍であり、マスクをするのが常である状態の中、人と人が顔を合わせた際の挨拶が大切である。地域からも挨拶できるようにしたい。 挨拶は社会生活の基本であり、生徒・保護者・教職員の評価が向上していることは良いが、地域でも向上することを期待したい。 中学生からの挨拶がとても良い。頑張っていると思う。 地域住民の間では挨拶は良くできているとの声が多い。 多くの生徒はこちらから挨拶をすれば必ず返してくれる。 自ら挨拶ができないことは以前からの指摘事項だったと思います。改善できるようにしたい。 登校時、交通安全の見守り活動時には挨拶をしてくれる。 自ら進んで挨拶してくれる生徒には残念ながら出会ったことがない。私自身もより積極的に声掛けの努力が必要である。 コロナ禍で生徒に合う機会は少ないが、自分から進んで挨拶する生徒は少ないと思う。 挨拶は比較的にできているようだが、「ありがとう」や「ごめんなさい」という言葉も生徒と共に先生方にも意識してもらい信頼関係に繋げてほしい。
「しなやかに、挑戦たくましく」	<ul style="list-style-type: none"> 授業に集中し、自主学習に挑戦する。 行事や部活動、各種大会、コンクール、検定試験等への挑戦 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の内容が分かっているか。 家庭学習の習慣を大切にし、宿題や予習・復習などの学習に取り組めたか。 学校行事や部活動、各種大会・コンクール等に積極的に挑戦できたか。 	B	<p>○【考察】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒81%(R2:79%・R1:84%)、保護者70%(R2:71%・R1:73%)、教職員93%(R2:96%・R1:94%)が、生徒は基礎的・基本的な内容が理解できていると評価している。また、生徒74%(R2:70%・R1:74%)、保護者69%(R2:67%・R1:66%)教職員70%(R2:60%・R1:86%)が生徒は家庭学習の習慣が定着していると評価している。学校行事では、生徒95%(R2:97%・R1:97%)、保護者92%(R2:91%・R1:95%)、教職員97%(R2:100%・R1:100%)が肯定評価している。部活動では、生徒93%(R2:95%・R1:95%)、保護者90%(R2:85%・R1:91%)、教職員100%(R2:100%・R1:96%)が肯定評価をしている。生徒は、今年度も行事や部活動に意欲的に挑戦し、充実感を得ている。 【改善】 <p>今年度は、コロナ禍の影響もあったが、長い休校になるようなこともなく教育課程を行うことができた。一人一台タブレットが導入され、教職員も授業の研修を積み重ね、実践することで有事に備えることができた。今後も生徒に生きる効果的な活用法を研修し、実践していきたい。</p> <p>行事や部活動は、生徒の成長において欠かせないものである。今年度もコロナウイルスの影響から行事の縮小や中止を余儀なくされた。来年度以降もコロナの影響を受ける可能性もあるため、今年の経験を生かし、より安全で充実したものになるよう、職員全員でアイデアを出し合い、実践していきたい。</p>	<p>◀【御意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 通年とは異なる学校生活の中、参観機会に恵まれず、よく分からない。 先生方の地道な積み重ねにより、授業・行事・部活動、それぞれが生徒の意欲を引き出している。今後も工夫を凝らし、活発な活動を大いに期待している。 コロナ禍によりオンライン授業で本来の授業や行事、部活動ができない状況で、生徒も先生方も大変苦労の多いことだったと思う。この経験を糧に生徒たちが充実した学校生活を送ることができるよう、先生方のお力添えをお願いしたい。 学校行事を通して生徒たちの成長がみられるのでこの所参加できずとも残念だった。 タブレットを使った授業だったり、文明が進んだりとは生活は便利になる反面、精神的な苦痛も多くなると感じますので、たくましく生き抜く指導を特にお願したい。 グループでのディスカッション等の機会は少なくなっているであろうが、タブレット等を使ってのコミュニケーションを大切にしてほしい。 部活動は思い通りにできず、フラストレーションが溜まるであろうが、機会を工夫して行ってほしい。 タブレットでのオンライン授業は大変ありがたかったが、ネットの環境の改善を望む。

「他進者とのかかわる」にする	・奉仕活動・福祉活動・環境整備を通して、思いやる心を育成する。	・奉仕活動、福祉活動等に進んで取り組めたか。	C	<p>○【考察】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒51%(R2:47%・R1:57%)、保護者40%(R2:30%・R1:53%)、教職員70%(R2:36%・R1:93%)、協議委員87%(R2:67%R1:100%)が、生徒はボランティア活動に進んで取り組んでいると評価している。昨年度に比べれば、評価は上がっているが、今年度もコロナウイルスの影響で総合的な学習の時間「アクティブタイム」やボランティア活動を実施することができず、福祉活動に進んで取り組むことができなかったため、全体的に評価が低いと考えられる。 <p>・【改善】</p> <p>アクティブタイムやボランティア活動への参加等、用意されたものの実践のみで評価していたと考えられる。来年度は、日頃から「奉仕やボランティア活動」を意識した取り組みができるよう、生徒とともに考え、すべての生徒・職員が意識した取り組みを実感できるようにしたい。</p>	<p>◀【御意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この項目が一番影響を受けているなど感じる。難しい状況であるが、良い方法を模索してほしい。 ・西貝地区として「ひょうたん池」の環境整備に力を入れていた。令和4年度以降中学生に協力をお願いしたい。 ・コロナ禍でも地域活動に参画できる取り組みを考えたい。コロナ禍前の生活に戻った時には生徒の皆さんと一緒に汗を流し、笑ったり、苦勞したりすることができたらと思う。 ・ボランティアや福祉活動もコロナ禍で縮小等、かわいそうに思う。この影響が今後大きく出ないことを祈るばかりです。 ・ボランティア活動はどんな小さい事でも実践できるので、少しの気づきを大切にしてほしい。 ・コロナが落ち着いたら、中学生にイベント等へ参加してほしい。 ・来年度もボランティア活動として田原地区の自治会行事への参加を状況を見ながら、可能な範囲でお願いしようと思う。 ・「読書に親しんでいる」評価が高い評価となったことは喜ばしく、読書を通して思いやりの心なども培われると考える。自分自身をじっくり見つめる時間も大切にしたい。 ・アクティブタイム活動も実施できず、生徒も残念だと思うが、普段の生活で実践できるので頑張してほしい。 ・職場体験ができず残念だった。体験を通して将来の夢につながってほしいと思う。
	・福祉活動等を通じて、思いやる心の育成ができたか。	C			

学校関係者評価を受けてのまとめ

学校運営協議会の委員からは、「行動する」に関しては、比較的良好な挨拶ができているなどの肯定的な評価、「挑戦する」に関しては、行事や部活動、コンクール等については参観する機会がなく、生徒の様子をなかなか見ることができず、成長の様子が見られなかったという御意見、「他者とのかかわる」に関しては、コロナ禍の状況で昨年度と同様ほとんどできず、今後の生徒への影響を心配するご意見を多くいただいた。次年度は、以下の点を重点的に指導していきたい。

- ※「行動する」に関しては、いつでも誰にでもさわやかなあいさつができるように心がけ、自分を支えてくれる地域の人に感謝の気持ちを持ち、進んで行うように指導していく。
- ※「挑戦する」に関しては、学習や各行事、部活動など学校生活全般に積極的に挑戦していく生徒の育成を目指す。そのための仕掛けや取り組みを教職員全体で考え、協議し、実践していくことを目指していきたい。
- ※「他者とのかかわる」に関しては、コロナの収束を願い、「アクティブタイム」の意義を再確認して意識を高め、意欲的に参加できるように指導していく。地域や施設に訪問し、実際に体験できるようになると良い。